

# 東京都女性経営者実態調査 調査結果・考察（サマリー）

## 目的・方法

調査目的：ビジネス分野における女性活躍の気運を一層盛り上げ、都内産業の活性化を図るため、女性経営者の課題や今後必要とされる施策等を可視化し、「女性経営者等活躍促進事業」において具体的な支援策を提供するための一助とする。

調査対象：「東京都女性経営者」に登録している女性経営者会員【会員数：1176名 有効回答数：100件（都内：91件 都外：9件）】

調査方法：メールにてアンケートを送付し、調査画面にて無記名で回答

調査項目：①回答者の属性 ②経営状況 ③資金調達 ④経営上の課題や必要な支援 ⑤女性経営者登録会員向けに必要なサービス

調査期間：令和4年12月27日（火曜日）から令和5年2月6日（月曜日）まで

## 結果

### 【回答者の属性】

- 2016年以降に創業した事業者が約半数。株式会社/有限会社、個人事業主の順に多い。
- 売上規模は1億円未満が8割以上。そのうち6割以上の事業者が1,000万円に満たない。
- 業種は、サービス業が最も多い。また全体の約7割は一人で起業した事業者。

### 【経営状況】

- 売上高1億円未満の事業者の約8割が雇用者数が5人以下。売上高1億円以上の事業者の9割以上が6人以上を雇用。

### 【資金調達】

- 借入を行っていないとした回答は約4割。金融機関からの借入額の最多は1,000万円未満で約7割を占め、そのうち8割以上が売上1億円未満の事業者。
- 借入しない理由は「必要ない」「融資を受けてまで拡大しようと思わない」の順が多い。
- 投資を受けていないとした回答は9割以上。前回調査と比較し「効果・リスクなどが十分に理解できていない」の回答は減ったが、依然として投資受入れへの壁は高い。

### 【事業をスケールアップさせるための当面の課題や必要な支援】

- 経営の発展には、売上規模問わず、販路・ネットワークの拡大を課題とする回答が多い。
- 性別による役割分担の意識などを含めた社会の意識改革に関する意見が多い。
- 発展に必要な支援として、ネットワーキングの中でもマッチングへの要望が多い。前回調査よりも資金調達に関する事項の回答が増加。

### 【女性経営者登録会員向けに必要なサービス】

- 「会員紹介ページの充実」や「助成金等支援情報の充実」を求める声が多数。
- その他、事業拡大に資するサービス情報のホームページ掲載などの要望あり。

## 考察

以下、3点の検討課題が判明した。

### 1 事業拡大の気運と情報・支援が不足

- ・資金調達（特に投資）及び助成金に関するニーズが高い。
- ・成長意欲はあるが、情報・知識不足で行動できない女性経営者が多い。

#### 【対策】

- ・セミナー等で融資・投資の解説、助成金の更新情報を積極的に発信。
- ・投資に積極的な女性経営者や投資家などへのインタビュー記事掲載。

### 2 性別に対する無意識の思い込みへの理解不足

- ・ダイバーシティへの理解不足や無意識の思い込みが、ビジネス分野における女性活躍を阻害するおそれがある。

#### 【対策】

- ・社会構造を含めた議論の場を設け、女性活躍ムーブメントを醸成

### 3 更なるネットワーキングやマッチングの機会不足

- ・前回調査から依然としてネットワーク形成に関する要望が多い。
- ・直接的な販路拡大につながるマッチングへの意見が増加。

#### 【対策】

- ・女性経営者会員の掲載情報を拡充。
- ・対面形式での交流の場を創出。